

こどもファースト～八戸市～

We are 子育て応援人!

子育て家庭に心強い!子育て応援する人を紹介します!



子どもたちの居場所づくりに奮闘中! //

2 やすだ ひろこ 安田 博子さん 豊崎児童館 館長

自己紹介をお願いします

豊崎児童館で3人の職員と共に、学童支援を行っています。学童が遊びや体験を通して、よりよい交流や仲間作りができるよう、さまざまな活動プログラム(行事)を企画・運営しています。

コロナ禍で厳しい状況ですが、感染予防を徹底して子どもたちの安心・安全な居場所作りのために、日々奮闘しています。



児童館はどのようなところ?

児童に健全な遊びを提供し、健康増進を図るとともに豊かな情操を育むことを目的とした施設です。

さまざまな年齢の子どもたちが、遊具を使った遊び、文化・スポーツ・創作などの活動を行っています。

また、児童館ごとに地域組織(通称:母親クラブ)が組織され、世代間交流や文化活動、子育てに関する研修会など、児童館を拠点に幅広く活動しています。



仕事にやりがいを感じるときは?

下校後「ただいま!」と入ってきた学童たちが、のびのびと笑顔で遊んでいる姿を見るとうれしくなります。

苦勞して企画した活動プログラムに参加してくれた後、「楽しかった」「もっとやりたかった」の声を聞くとやりがいを感じます。

【市内児童館】

豊崎児童館、三条児童館、是川児童館、南浜児童館、高岩児童館、松館児童館、中央児童会館、湊児童館、小中野児童館、吹上児童館、白銀児童館、大館児童館、鮫児童館、八戸ニュータウン児童館、江陽児童館



児童館を利用するには?

全ての児童が自由に利用できますが、事前に登録が必要となります。幼児(未就学児)については、保護者同伴であれば利用できます。

登録は、各児童館で受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

☎八戸市社会福祉協議会 ☎47-2940

発信!

市民連携推進課 ☎43-9182

地域自慢 47

湊地区

湊町見守る坂道を後世まで
～坂道案内看板と「湊町坂道ものがたり」の活用～

坂道案内看板と、坂道の名前と由来を紹介する冊子である「湊町坂道ものがたり」の制作について、湊地区連合町内会の山下福一^{やましたふくいち}会長(取材時)、実行委員長の石田清^{いしだきよし}さん、湊地区連合町内会役員の皆さんにお話を伺いました。

○制作に至った経緯

きっかけは、地域の子ども会で作成した湊町にある坂道の紙芝居。この紙芝居を見た保護者から「この坂は知っている」「その坂は知らない」などの反応があり、坂道の名前を知らない人たちが増えていると実感しました。湊町の発展を見守ってきた坂道の名前と由来を、後世につなげたいという思いから、市の事業である「元気な八戸づくり市民奨励金」を活用し、湊地区連合町内会が制作することになりました。

○地域一丸となつての制作!

坂道案内看板の制作は、八戸工業大学第一高等学校の協力を得て、生徒が作成に携わりました。看板の設置は、各町内会長が設置場所となる土地の地権者に相談し、許可を得たうえで行いました。連合町内会と地域にある八戸工業大学第一高等学校、

また、地域に住む皆さんの理解と協力があったからこそ、坂道案内看板の設置が実現できたと思います。

○反響と今後の坂道を活用した取り組み

「湊町坂道ものがたり」は地区にある小学校や中学校の生徒、また、湊公民館やみなっ知などに配布していますが、市内外から大きな反響があり、4,500部作成した冊子はほとんどない状態となりました。ここまで大きな反響があったことを嬉しく思います。

今後は、坂道案内看板をメインに回るウォークラリーの開催を予定しており、地域内外問わず、参加者を募集したいと考えています。



坂道案内看板



「湊町坂道ものがたり」

ホームページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp>
 携帯電話向けページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/m/>
 Twitter <https://twitter.com/HachinoheCity>
 Facebook <http://www.facebook.com/HachinoheCity>



ホームページ



携帯用HP



LINE



「広報」「市議会だより」が閲覧可!